

令和5年

第12回

薩摩川内市教育委員会  
(定例会)

会 議 録

令和5年11月27日

令和5年第12回 薩摩川内市教育委員会定例会

- 1 期 日 令和5年11月27日(月)
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 出席委員 教 育 長 藤田 芳昭 教育長職務代理者 軍神利喜男  
委 員 枇杷 眞弓 委 員 土器手正之  
委 員 常盤 美幸
- 4 説明のために出席した職・氏名  
教育総務課長 坂上 克久 学校教育課長 中津 朋広  
学校教育課指導担当課長 西島 常德 社会教育課長 坂下 克博  
社会教育課長 坂下 克博 少年自然の家所長 児玉 学  
中央図書館長 寺田 和一
- 5 記 録 者 教育総務課課長代理 中道 美保
- 6 傍 聴 者 なし
- 7 日 程
  - (1) 会議録承認
  - (2) 審議  
議案第20号 令和4年度薩摩川内市教育委員会の事務の点検・評価について  
報告第24号 令和5年度薩摩川内市一般会計補正予算(第8回補正)に係る議案に関する意見の申出について
  - (3) 諸般報告
  - (4) その他
    - ① 令和5年12月行事予定について
    - ② その他

開会時間13時30分

【開会】

教 育 長     ただ今から、令和5年第12回薩摩川内市教育委員会定例会を開会いたします。

【会議録の承認及び会議録署名者の指名】

教 育 長     令和5年第11回定例会の会議録についてお諮りします。会議録を承認してよろしいですか。

（異議なしの声あり）

教 育 長     令和5年第11回定例会会議録は承認されました。

教 育 長     会議録署名委員につきましては、枇杷委員を指名します。

教 育 長     傍聴の申し出はありますか。

教育総務課長代理     申し出はございません。

教 育 長     本日の傍聴の申し出はございません。

【審議の確認】

【審 議】

【議案第20号 令和4年度薩摩川内市教育委員会の事務の点検・評価について】

教 育 長     それでは審議に入ります。

教 育 長     議案第 20号 令和4年度薩摩川内市教育委員会の事務の点検・評価について 教育総務課長 説明をお願いします。

教育総務課長     （議案書で説明）

教 育 長     前回の定例協議会、それからその後、委員の皆様方にはご意見をいただいたところで行いました。今回は一つ一つの施策等について個別には検討はいたしません。5分程度、目を通していただきまして、疑問点等ございましたら意見を出していただくという方法で進めていきたいと思いますがそれでよろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

教 育 長     それでは5分程度、目を通していただければと思います。

(資料確認中)

教 育 長 それでは、9つの施策の方向性の二次評価といたしまして、すべての施策について、継続充実が必要であるという提案がありました。項目によっては具体的な事業の取り組みについての方向性、また、項目によっては全般的な総括的な方向性の文言でも表記してございます。どの項目からでも結構です。率直にご意見をお聞かせいただきます。

枇 杷 委 員 施策番号Ⅰ－2「知・徳・体の調和のとれた生きる力を育む教育の推進」の2次評価の中に「教職員の健康にも留意されたい」という文言が入っていることがとても良いと思います。子供たちのことを考えるためには、先生方が健康でないと、対応もなかなかできないと思います。

教 育 長 関連して教職員の病気休職等についてのデータがありますか。  
学校教育課長 準備いたします。

教 育 長 今、枇杷委員がおっしゃったように、子供たちを健全に育てていくためには、直接指導している教職員の健康管理をメンタルヘルスも含めて対応していくことが大事なことはなかろうかということで、この文言を入れるということは、大変評価いただいたというふうに思っております。

教 育 長 他にございませんか。

土 器 手 委 員 施策番号Ⅲ－1「生涯学習の展開」の2次評価の中に、超高齢化社会においてとありますが、今からくる超高齢化社会じゃなくて、現時点での超高齢化社会ということで、先が怖いなと思ったところです。施策評価シートに記載されている事を、机上の空論にならないように実行に移していただき、良い方向に進んで行ってほしいと思います。

教 育 長 来年度は教育振興基本計画の策定の年にもなります。  
今、市役所全体としては、第三次総合計画の素案づくりも進捗しておりますけれども、この令和4年度の事務の点検評価については、その教育振興基本計画の改定のベースにもなろうかと思っております。当然、令和5年度の事務の点検評価につきましても、評価していただく

わけですけれども、このように具体的な外部委員、そして教育委員の方々の声が、表記されることは非常に貴重な資料だと思っておりますので、今、土器手委員からございましたように、これが机上の空論にならないように、実効あるものにしていきたいと考えております。

常盤委員

先程、土器手委員が言われました「超高齢化社会」という言葉について、私は第3次総合計画の作成の会議に、委員として出席させていただきまして、いろいろ市全体の根本的な課題であるものが少子高齢化、超高齢社会ということ認識しました。ここでやはり大事になるのが地域力です。その地域力が子供の頃から育まれると良いと思いました。それで、コミュニティスクールや、地域学校協働活動も積極的に進められていくと良いと思いました。この超高齢社会は、高齢化社会、高齢社会と基準言葉に規定がありまして、現在は超高齢社会です。超高齢者社会の者は入りません。それから私が出した意見の補足をさせていただきます。施策番号Ⅲ—3「生涯学習を進めるコーディネート機能の充実」の項目6の外部評価中の生涯学習人材バンクのすてきびと登録が、目標になかなか達しないということがあったと思っておりますけれども、このすてきびとの登録は、市全体での集約した登録の数であるわけなんですよね。合併して、広域になって、文化が違う地域がある中で、項目7の二次評価の意見として申し上げたのが、各地区コミュニティの中で、地域の人材活用は、取り組まれていると思っておりますけれども、少し具体的になります地域の中で登録をされて、それを社会教育課が把握するような形でもいいのではないかなと思いました。その方が、地域に密着して活動もできますし、登録もうまくいくのかなと思って書かせていただきました。全体的に私たちが申し上げた意見が簡潔にまとめられていますので、そこはとてもありがたく思ったところです。

社会教育課長

常盤委員が言われるように、すてきびとの登録が同じ状況のままです。今現在、ホームページや広報誌で情報発信をしております。今、ご提案がありましたように、地区コミュニティ協議会の方にも呼

びかけをさせていただいて、情報を密にしたいと考えております。

軍神委員

施策番号 I-1 の「小中一貫教育の充実」の中の 2 次評価で英語力向上プランのサマーキャンプの実施については、積極的な募集による参加者増など、取組の充実を図りたいと意見が出ましたが、5 ページの取組実績の中で、宿泊を伴わない形でと書いてありますが宿泊も可能ですか。サマーキャンプをさらに魅力的にするためには、甕島で宿泊ができればよいのではと思います。宿泊については予算的なものもあるのかも知れませんが、これも重要な施策でもあるので、そういうことができれば、さらに魅力的なサマーキャンプになるのではないかなと思うところでした。

それから、それぞれの施策において数値目標がありますけれども、数値目標に対しての取組は明確でないといけないと思いますので、例えば、5 ページの指標で入学前の不安感というのは令和 4 年度は 58.8% だったけれども、数値目標は 50% 未満にしていくと目標設定してありますが、どのように取り組んでいくのかと思いました。また 9 ページの標準学力検査 (NRT) の偏差値平均を全国 50 としたときに、令和 4 年度は小学生が 49.8%、小学生が 47.9% だったけれども、小学生は 53%、中学生は 52% にしていくということで、これをどのように取り組んで行くのかということを確認にできたらと思うところでした。

それから 11 ページの項目 7 の二次評価で、学力に関するビジョンを家庭へも明確になるように対処する。このビジョンというのは学校なのか教育委員会なのか、学校の考えていることを伝えることが大事なのではと思いました。以上です。

教育長

ありがとうございます。学校教育課からサマーキャンプの宿泊について、考え方等ありましたら教えてください。

学校教育課長

サマーキャンプに関しましては、以前は宿泊で実施しておりました。コロナ禍になってから、宿泊が感染の恐れがあるということで、宿泊をやめて日帰りのデイキャンプという形にして実施しているところです。今年度は参加人数が本土区域で 12 人、甕島区域で 13 人計 25

人、教職員は13人参加しております。学校等に実情を聞きながら、宿泊の方がより魅力あるサマーキャンプになるという方向性があれば、以前のように、宿泊に戻していくことも含めて検討しているところでもあります。

軍神委員 今現在のサマーキャンプは、少年自然の家で実施していますか。

学校教育課長 国際交流センターで実施しています。

軍神委員 予算も関係しますので、機会があったら検討していただければと思います。

教育長 ありがとうございます。数値目標の設定等については、次期教育振興基本計画等も含めましてのご意見だと捉えておりますので、根拠となるものをしっかりと把握し、積み上げるということの大事さを、今、ご意見いただいたというふうに捉えております。

あと、学力に関するビジョンについては、前回もご意見いただきました。学校だけ分かっているのではなく、家庭、保護者への周知、啓発が必要じゃないかということから、この意見をいただきましたが、それについて何か追加コメントがありましたらお願いします。

学校教育課長 学力のビジョン、つまり学力をどんなふうに高めていくかということに関しましては、市教委としては市の広報誌を使って、全国学力学習状況調査の結果を受けて、これから学校でこんなことに取り組んでいきますよと、具体的に言いますと、授業を教師の教え込みの授業から、子供みずからが考える。そして思考力、判断力、表現力を高めていくような授業に改善していきますということを市全体に対して示しているところでもあります。軍神委員がおっしゃるように、各学校が自分の学校の学力を高めるためにどうすればいいのかということ、具体的に啓発を図っていくべきところだと思います。例えば、鹿児島学習定着度調査や、全国学力学習状況調査の結果が出たときに、その結果を受けて、本校はこういうところに課題があるので、この課題を解決するために、次はこのように取り組んでいきますということを、保護者に公表するように指導してるところです。

軍神委員 それはとてもいいことだと思います。今までは教育委員会に報告をもらったという話でしたので、学校はこのように取り組んで行くということを保護者にも周知して、保護者にも考えてもらわなきゃいけないし、或いは中学生とか高学年になれば分かるので、そこで考えてもらえるようにすることが大事かなと思います。

教育長 ありがとうございます。それでは、先ほど枇杷委員からもありました、教職員の健康についての実態をお伝えください。

学校教育課長 今現在、病気で休職されている教職員は6人です。原因は様々ありますが、その中で精神的なもので休んでいる者が二人です。それ以外に、90日の病気休暇をとっている者が1人います。全部で7人です。

教育長 現在、期限付き教員の確保が県下全体でも難しいという観点から、後任の代替者が確保できないということで、教頭が臨時の担任業務をしている学校があることも現状のひとつです。当然そうなりますと、教頭業務にも影響がありますし、学校の全体職員の業務にも影響がありますので、事務所をお願いをしたり、私たちも努力をしているつもりでおりますが、1人確保するには課題が非常に大きいです。なるべく子供たちの教育環境を整えるためには、人的環境は非常に大事ですので、引き続き事務所と連携をとっていきたいと思っております。

教育長 それでは、その他ご意見がありませんでしたら、この施策評価シートにつきましては、これで終わりたいと思います。多方面からご意見いただきましてありがとうございました。

**【報告第24号 令和5年度薩摩川内市一般会計補正予算（第8回補正）に係る議案に関する意見の申出について】**

教育長 報告第24号、臨時代理の報告において（令和5年度薩摩川内市一般会計補正予算（第8回補正）に係る議案に関する意見の申出について）  
教育総務課長 説明をお願いします。

教育総務課長 （議案書で説明）

教 育 長 質問はありませんか。  
(質疑なしの声あり)

【諸般報告】

教 育 長 それでは、諸般報告について、教育総務課から説明をお願いします。  
後程まとめてご質問等いただきたいと思います。

教育総務課長 (資料 1 ページについて説明)

教 育 長 それでは学校教育課に移ります。学校教育課長、説明をお願いします。

学校教育課長 (資料 2 ページについて説明)

教 育 長 社会教育課の説明をお願いします。

社会教育課長 (資料 3 ページについて説明)

教 育 長 少年自然の家の説明をお願いします。

少年自然の家所長 (資料 7 ページについて説明)

教 育 長 中央図書館の説明をお願いします。

中央図書館長 (資料 8 ページについて説明)

教 育 長 甌島教育課の説明をお願いします。

教育総務課長 (資料 1 2 ページについて説明)

【その他 ① 1 2 月行事予定について】

教 育 長 次に①令和 5 年 1 2 月行事予定について、教育総務課から順に説明を  
してください。

教育総務課長 説明  
(以後、順次各課からの報告)

教 育 長 それでは 1 2 月行事予定、先ほどの諸般報告を含めたご意見等ござい  
ましたら、お出しいただければと思います。

土器手委員 1 1 月 1 0 日に広島で開催された、令和 5 年度市町村教育委員会研究  
協議会に参加しましたので報告をさせていただきたいと思います。当日は開会挨拶が終わった後で、文部科学省から行政説明があり、その後、各分科会に分かれてのグループミーティングがありました。私の

グループは北海道、滋賀、長崎や私も含めて6、7人のグループで、滋賀の教育長が進行役をされました。私は分科会は「いじめ対策・不登校支援について」を選択しました。グループ討議の中で、いじめに対するアンケートの話になりました。他の市等は、いじめに対するアンケートは実施しているが、年に2回3回、または1学期間に1回ぐらいという感じで、薩摩川内市は月1回実施していると話をしました。様々な事例や意見が出される中で、薩摩川内市の教育環境を整えている先生方の力が凄いなと思いましたし、先進的に様々な取組を行っていること等について自信がついた気がします。自信を持って教育委員の会に行ける気がします。いじめの対処等は、どの市も一生懸命取り組まないといけないですし、いじめだけではなく、その他についても時間が限られた中で、一生懸命取り組んで真摯に子供達に向きあって、寄り添って行って欲しいなと思います。私自身もそういう気持ちでやっています。勉強になりました。ありがとうございました。

教 育 長 ご報告ありがとうございました。今日ご意見を皆様からいただいたということは、事務局にとりましても、また新しい視点も加えて、今後対応していかなければならないと改めて思ったところでございます。

教 育 長 その他に入りたいと思います。  
委員の皆さんとか、何かございませんか。

(なしの声あり)

教 育 長 事務局から何かお知らせがありますか。

(なしの声あり)

教 育 長 大変長時間にわたりまして、本当に貴重なご意見や審議をしていただきました。ありがとうございました。

教 育 長 以上で令和5年第12回薩摩川内市教育委員会定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

閉会時刻 15時40分

教 育 長

教育委員